

## 2013年10月運用報告書(2013年10月1日～2013年10月31日)

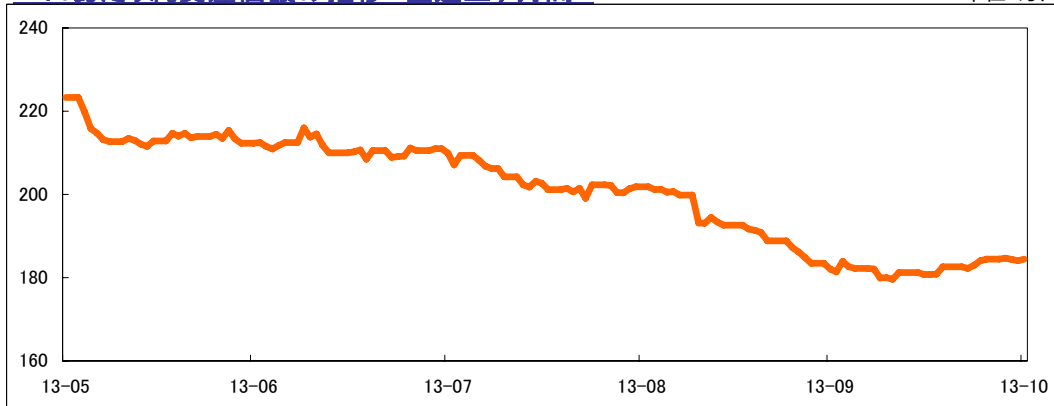
### 純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：5.72%】

	設定時 (1999/2/1)	2013年6月末	2013年7月末	2013年8月末	2013年9月末	2013年10月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	2,122,881	2,099,100	2,018,257	1,820,455	1,844,524
月次騰落率	—	-4.94%	-1.12%	-3.85%	-9.80%	1.32%
設定来騰落率	—	112.29%	109.91%	101.83%	82.05%	84.45%

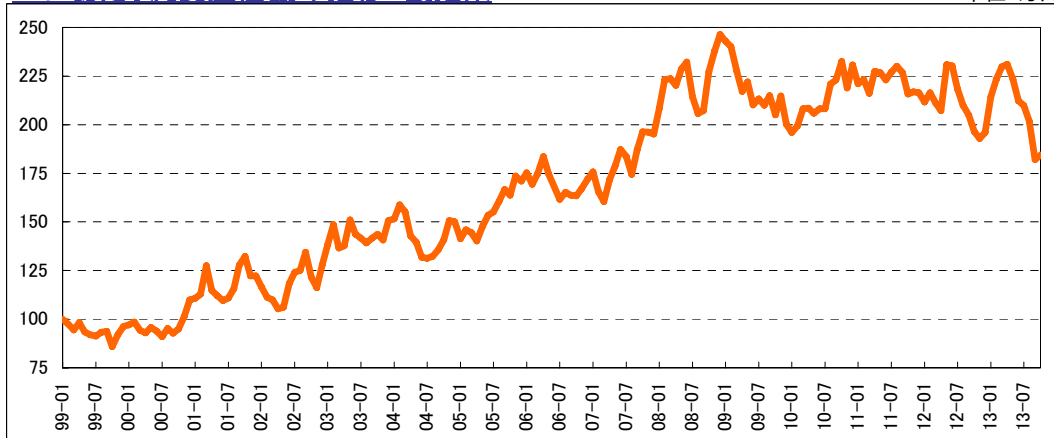
### 一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位：万円



### 一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位：万円



### 各セクターごとの損益

2013年10月の運用成績はプラスとなり、アセットトライは前月比1.32%の利益となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
-	+	++	-	+	-	+

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

### マーケット概要

為替相場は、米ドルが対ユーロでのドル安傾向が強まりました。連邦債務上限の引き上げ交渉から米国の政府機関が一時閉鎖され、成長減速で金融緩和スタンスが維持されるとの見方が強まり、ドルは主要通貨に対して下落しました。そして、ドル円レートは98円台前半から一時96.55円まで下落したものの、株価上昇から99円へと反発するなど、円高傾向を回避しつつも横ばい傾向となりました。

主要国の短期金利は、日米欧ともに緩和的な政策を維持するなか、低水準での横ばい推移が継続しました。長期金利は、月前半の米国政府機関一部閉鎖中は米国価格下げも懸念されて米国を中心に緩やかながら上昇傾向。ただ、債務上限引上げ合意以降は、量的緩和縮小の先送り見通しが強まったことから米国主導で低下へ転じ、国内では5月以来の低水準となりました。

主要国の株価指数は、おおむね堅調推移となりました。当初は米国の債務上限引上げ交渉が進まずやや軟調に推移したものの、米国の量的緩和縮小先送り見通しが強まると次第に上昇傾向に転じ、NYダウ、独DAXは過去最高値を更新しました。ただ、日経平均株価は、中国人民銀行の金融引締め観測を背景とした上海株安や円高が圧迫となって伸び悩み、横ばい推移となりました。

原油相場は、ブレント原油が当初の107ドル水準から、リビアの首相が一時的に拉致されるなど地政学的リスクを背景に一時112ドルへ上昇しました。ただ、イランの核問題についての国際協議で制裁の緩和期待が強まり、米国内の原油在庫増加によるWTI原油下落もあって106ドル台へ反落。リビアの減産報道からの急反発も110ドルで抑えられ、108ドル水準で越月しました。

金相場は1,251ドルを安値に上昇しましたが、高値は1,361ドルと限定され、1,323ドルで越月しました。米連邦債務上限の引き上げ交渉がまとまり、量的金融緩和の縮小時期が2014年初頭へと先送りされたことで反発に転じたものの、政府機関の一時閉鎖により不透明感が強まると、上昇も短期的となりました。また、アジアの現物需要も価格上昇から次第に減退しました。

大豆相場は、9月の天候改善による下落が一巡し、1,260～1,320セントでの横ばいとなりました。米国の政府機関閉鎖の影響で10月上中旬の穀物関連統計の発表が見送られるなか、米国産地では収穫作業が順調に進み、生産高についても9月時点の予想を上回るとの見方が強まったことが上値を抑制。一方、輸出需要は中国向けを中心に好調で、下支え要因となりました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットトライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。



## 「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.10%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業者指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル  
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

## 「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

### 金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会